【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成27年8月13日(2015.8.13)

【公表番号】特表2014-520147(P2014-520147A)
【公表日】平成26年8月21日(2014.8.21)
【年通号数】公開・登録公報2014-044
【出願番号】特願2014-517091(P2014-517091)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 1/04　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/4184　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/423　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/428　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/4709　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 9/28　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　33/50　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　33/15　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｐ　43/00　１１１
Ａ６１Ｐ　 1/04
Ａ６１Ｋ　31/4184
Ａ６１Ｋ　31/423
Ａ６１Ｋ　31/428
Ａ６１Ｋ　31/4709
Ａ６１Ｋ　 9/28
Ｇ０１Ｎ　33/50　Ｚ
Ｇ０１Ｎ　33/15　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成27年6月19日(2015.6.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
炎症性の腸疾患を有する個体において組織トランスグルタミナーゼ（ＴＧ２）の活性化を低下させるための製剤の製造における、ＴＧ２活性を低下させるための有効量でＴＧ２活性化または活性を遮断する薬剤の使用であって、
製剤が、炎症性の腸疾患を有する前記個体に投与するために使用される、使用。
【請求項２】
ＴＧ２活性は腸のＴＧ２活性である、ことを特徴とする請求項１に記載の使用。
【請求項３】
炎症性の腸疾患は、セリアックスプルーである、ことを特徴とする請求項１に記載の使用。
【請求項４】

薬剤はＰＩ３キナーゼを阻害する、ことを特徴とする請求項１に記載の使用。
【請求項５】
薬剤はＬＹ２９４００２である、ことを特徴とする請求項４に記載の使用。
【請求項６】
薬剤はチオレドキシンを阻害する、ことを特徴とする請求項１に記載の使用。
【請求項７】
薬剤は、２－（ｓｅｃ－ブチルジスルファニル）－５－ニトロ－１Ｈ－ベンゾ［ｄ］イミダゾール、２－（ｓｅｃ－ブチルジスルファニル）ベンゾ［ｄ］チアゾール、２－（ｓｅｃ－ブチルジスルファニル）ベンゾ［ｄ］オキサゾール、２－（シクロペンチルジスルファニル）－１Ｈ－ベンゾ［ｄ］イミダゾール、および、２－（シクロヘキシルジスルファニル）－１Ｈ－ベンゾ［ｄ］イミダゾールからなる群から選択される、ことを特徴とする請求項６に記載の使用。
【請求項８】
薬剤はＴＧ２を阻害する、ことを特徴とする請求項１に記載の使用。
【請求項９】
薬剤は、（２Ｓ，４Ｓ）－キノリン－３－イルメチル　２－（（（Ｓ）－３－ブロモ－４，５－ジヒドロイソキサゾール－５－イル）メチルカルバモイル）－４－フルオロピロリジン－１－カルボン酸塩；（２Ｓ，４Ｓ）－キノリン－３－イルメチル　２－（（（Ｓ）－３－ブロモ－４，５－ジヒドロイソキサゾール－５－イル）メチルカルバモイル）－４－ヒドロキシピロリジン－１－カルボン酸塩；（２Ｓ，４Ｒ）－キノリン－３－イルメチル　２－（（（Ｓ）－３－ブロモ－４，５－ジヒドロイソキサゾール－５－イル）メチルカルバモイル）－４－（ｐｒｏｐ－２－ｙｎｙｌｏｘｙ）ピロリジン－１－カルボン酸塩からなる群から選択される、ことを特徴とする請求項８に記載の使用。
【請求項１０】
炎症性の腸疾患は、疱疹状皮膚炎、過敏性腸症候群、および、クローン病から選択される、ことを特徴とする請求項１に記載の使用。
【請求項１１】
薬剤はＰＩ３キナーゼを阻害する、ことを特徴とする請求項１０に記載の使用。
【請求項１２】
薬剤はＬＹ２９４００２である、ことを特徴とする請求項１１に記載の使用。
【請求項１３】
薬剤はチオレドキシンを阻害し、２－（ｓｅｃ－ブチルジスルファニル）－５－ニトロ－１Ｈ－ベンゾ［ｄ］イミダゾール、２－（ｓｅｃ－ブチルジスルファニル）ベンゾ［ｄ］チアゾール、２－（ｓｅｃ－ブチルジスルファニル）ベンゾ［ｄ］オキサゾール、２－（シクロペンチルジスルファニル）－１Ｈ－ベンゾ［ｄ］イミダゾール、および、２－（シクロヘキシルジスルファニル）－１Ｈ－ベンゾ［ｄ］イミダゾールからなる群から選択される、ことを特徴とする請求項１０に記載の使用。
【請求項１４】
薬剤はＴＧ２を阻害する、ことを特徴とする請求項１０に記載の使用。
【請求項１５】
薬剤は、（２Ｓ，４Ｓ）－キノリン－３－イルメチル　２－（（（Ｓ）－３－ブロモ－４，５－ジヒドロイソキサゾール－５－イル）メチルカルバモイル）－４－フルオロピロリジン－１－カルボン酸塩；（２Ｓ，４Ｓ）－キノリン－３－イルメチル　２－（（（Ｓ）－３－ブロモ－４，５－ジヒドロイソキサゾール－５－イル）メチルカルバモイル）－４－ヒドロキシピロリジン－１－カルボン酸塩；（２Ｓ，４Ｒ）－キノリン－３－イルメチル　２－（（（Ｓ）－３－ブロモ－４，５－ジヒドロイソキサゾール－５－イル）メチルカルバモイル）－４－（ｐｒｏｐ－２－ｙｎｙｌｏｘｙ）ピロリジン－１－カルボン酸塩からなる群から選択される、ことを特徴とする請求項１４に記載の使用。